

湾岸、アラビア諸国における
社会変容と国家・政治
—イラン、GCC諸国、イエメン—

福田 安志 編

2007年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構
アジア経済研究所

はしがき

本調査研究報告書は、平成 18 年度(2006 年度)にアジア経済研究所で実施した「湾岸・アラビア産油国における社会変容とその政治システムへの影響」研究会(課題番号Ⅳ-35)の成果である。

イラン、サウジアラビア、クウェート、カタールなどの湾岸諸国における国家体制は、イスラーム共和制や王制、首長制などの特異な体制を採っている。一方で、この地域では、経済的発展や人口増加などにより経済や社会が大きく変化しており、その変化は政治にも様々な影響を与えつつある。軍の支持をバックに 30 年近く政権を維持してきたイエメンの現政権が、近年、政治改革を進めているのはその動きを先取りしているのかもしれない。

湾岸、アラビア諸国はわが国にとって原油や天然ガスの供給地として重要な地域であるが、政治的に不安定な地域でもある。社会変容とその政治システムへの影響についての調査研究を通し、この地域への理解を進めることが求められている。

本研究会には、研究所の内外の研究者 6 名が参加し(内 1 名はオブザーバー)、合計 11 回の研究会を開催した。研究会では、外部の専門家から話しを聞き、また各委員による研究発表や討議を通し、湾岸、アラビア諸国における社会変容とその政治システムへの影響について検討した。本調査研究報告書が、この地域の政治と社会の理解に寄与することができれば幸いである。

2007 年 3 月

編者

目次

第1章 湾岸、アラビア諸国における国家、経済発展、社会変容	
	福田安志・・・・・・・・・・ 1
第2章 イラン・イスラーム共和体制における統治権力と国民 —バスījの事態理解へ向けて—	
	佐藤秀信・・・・・・・・・・ 13
第3章 イランにおける地方議会制度と地方自治の発展 —ハータミー期における展開とその前提条件 についての予備的考察—	
	鈴木 均・・・・・・・・・・ 63
第4章 サウジアラビアにおける統治体制	
	福田安志・・・・・・・・・・ 101
第5章 クウェートとカタール：「レンティア国家」の変遷	
	水島多喜男・・・・・・・・・・ 147
第6章 イエメンの政治変化と経済変化	
	松本 弘・・・・・・・・・・ 173

執筆者一覧（執筆順）

- 福田安志（アジア経済研究所総括審議役）
佐藤秀信（法務省法務事務官）
鈴木 均（アジア経済研究所新領域研究センター
国際関係・紛争研究グループ・研究グループ長代理）
水島多喜男（徳島大学総合科学部教授）
松本 弘（大東文化大学国際関係学部助教授）